JR古賀駅周辺官民連携ウォーカブル社会実験補助金実施事業一覧

実施事業者	①事業名②実施日時③場所	⑤事業内容	⑥開催のようす
有限会社 許山酒販	①古賀駅西口スイングまつり ②2025年10月4日（土）10時30分～17時30分 ③古賀市駅前憩いの広場	・昨年に続き2回目の開催。市内外からの来場者による駅前の賑わい及び滞留性の向上と市民の地元満足度向上を目的としたスイングジャズが中心の音楽と飲食を楽しむお祭り。 ・約15事業者の出店と4組の出演者による音楽ステージ。 ・会場にて古賀駅周辺の居心地の良さアンケートを実施。	 
	④補助金額	⑥事業の効果	
	④500,000円	・昨年の実績もあり、開催発表後からSNSフォロワー数が増加するなど、知名度の向上や期待の高さを感じていたものの豪雨の影響でJRが運行停止となり、来場できなくなった方が多かった。 ・県外（唐津や長崎、京都など）からお越し頂いた方も多く、用意したコンテンツに対しての期待の高さを感じることができた。 ・豪雨中断があったものの、最終的には最後まで実施でき、来場者からは来年の開催要望もあった。 ・来場者アンケートでは56％が市外からだった。また98％の人が継続実施をしてほしいとのこと。	

実施事業者	①事業名②実施日時③場所	⑤事業内容	⑥開催のようす
一般社団法人 こがみらい	①西口★パークランド ②2025年11月8日（土）～9日（日）10時～17時 ③サンリブ古賀店駐車場・古賀駅ふれあい広場	・サンリブ古賀店駐車場を会場に、西口商店街の魅力を発信する2days。 ・西口商店街の店舗を中心に、キッチンカーや飲食ブース、雑貨ブースが立ち並び、子ども向けの大型遊具の設置や地元団体によるステージイベントも行われた。（10店舗以上が出店）	
	④補助金額	⑥事業の効果	
	④300,000円	・サンリブ古賀との連携による取り組みであり、サンリブ古賀から「地域の活性化に貢献出来たことに大きな異議を感じる」、「施設単体の集客に留まらず、商店街との相互送客による相乗効果が明確に認められた」との高い評価を頂いた。この連携モデルが、商業施設と地域商店街双方にとってWinWinの関係を築けることが立証された。 ・来場者は延べ約3,000人でアンケートや聞き取りによると商店街実店舗への送客意欲に繋がるポジティブな反響が多数寄せられた。	 

実施事業者	①事業名②実施日時③場所	⑤事業内容	⑥開催のようす
有限会社 スペック	①発酵フェスティバルwith祭りどんちゃん ②2026年2月11日（水・祝）10時～19時 ③リーパスプラザこが・憩いの広場・商工会館ほか	・「発酵」という大きなテーマのもと古賀駅の東西それぞれの会場（リーパスプラザこがと憩いの広場・商工会）で多岐に渡る取り組みを実施。（リーパスでは講演会「土と菌と人の力でつながる命のリレー」や映画上映・味噌や醤油づくりワークショップ、憩いの広場では地元の酒や発酵食品の販売や盆踊り、和太鼓ワークショップなどの音楽祭、商工会ではディスコ体験） ・AMは駅東側のリーパスプラザこがを会場とし、PMの会場である駅西側の憩いの広場や商工会に向かって、チンドン隊による誘導を行うことで、初めて東西をつなぐイベントを実施。 ・その他、講演会後には実際にのんびりファームにて土づくりワークショップを開催。	 
	④補助金額	⑥事業の効果	  
	④500,000円	・来場者は延べ約500人で、県内外からの参加もあり、講演会参加者アンケートでは9割以上が満足と回答した。 ・古賀駅の東西をつなぐ初のイベントで滞留と回遊を創出。 ・講演会やワークショップは定員いっぱいで、古賀市というまちの魅力を多くの人たちに実感してもらえた。 ・普段味わうことのないワークショップ（土づくり・味噌づくり・醤油づくり）を行うことで、米作りや野菜作りに従事する作り手の創出に寄与した。	 